

* 2014 百里初午まつり *

雪化粧の平和公園に250人が集う！

百里初午まつりは、43年ぶりと言われる大雪の中で開催されました。前日からの降雪が20cm以上も積もり会場は真っ白。しかし11時を過ぎると参加者は急に増えました。

会場には、ドラム缶を半切りにした特性火床を数ヶ所設置、内原友部平和の会が提供してくれた軽トラいっぱいの薪（たきぎ）で、暖を取れるようにしました。

12時から開始された式典は、梅沢優・百里基地反対同盟委員長、内藤功・百里弁護団長、伊達郷右衛門・県平和委員会代表理事の挨拶のあと、松原日出夫さんの音頭で乾杯。その後、百里基地反対連絡協議会（百里連協）参加の平和擁護県民会議、農民連、日本共産党、社民党の各団体がそれぞれに祝辞や決意を述べました。茨城労連、新社会党、日本山妙法寺の挨拶、日本航空争議団の支援要請もありました。

式典終了後、茨城センター合唱団の大名さんの司会で歌ったりしゃべったりの交流が行われ、2時過ぎに終了しました。



百里基地では、午前中に数回、F15の訓練がありましたが、参加者の熱気に押されました。午後はC130輸送機の飛来もあり、騒然した雰囲気もありました。



【伊達郷右衛門・県平和委員会代表理事】

【乾杯！松原日出夫さん】

【梅沢優・百里基地反対同盟委員長の挨拶】



百里反対同盟から、恒例の赤飯と清酒の差し入れがありました。内原友部平和の会では、大型ズン胴鍋で、「トン汁」を販売、寒さの中で非常に喜ばれました。

「百里初午まつりバスツアー」参加した東京の仲間は、大型バスで参加。交流会で「翼をください」を熱唱。参加者一同も熱唱し、連帯を深めあいました。



【内藤功・百里弁護団長のスピーチ】



【百里平和公園への道は、松原さんたちが「憲法の道」と名付けました。250人以上の人が雪の憲法の道を通して会場へ…】

百里反対同盟委員長

梅沢勝さんの話



銀世界の中での初午まつりは30数年ぶりでした。その時は数人しか参加できなかったという話を聞いています。前日から雪のため、「赤飯は少し少なく用意しようかな」とも考えました。しかし、例年通りに用意した300以上のパックはきれいになりました。

参加者も少なくなるだろうと思いましたが、あんなにもたくさんさんの参加があり、感激しています。東京からの参加者が「今日のような日に参加できて、かえってファイトが湧いた」と言ってくれた。また常連の方々はほとんど来てくれた。新しい方々もたくさんいました。嬉しかったです。

式典で挨拶してくれた百里弁護団事務局長の池田さんは、寒い中、病身を押して参加してくれた。初午まつりで聞く池田さんの挨拶は本当にうれしかった。



【焚き火に囲み挨拶を聞く参加の皆さん】

【今年も参加の東京都平和委員会の皆さんが、うたごえを響かせました。】



平和新聞

2014年2月15日（土曜日）

2039号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 677
2014.2/15
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

「標的の村」 上映のお知らせ

2月27日(木)

県民文化センター小ホール

- ① 10:30 ~ 12:05
 - ② 14:30 ~ 16:05
 - ③ 18:30 ~ 20:05
- (毎回30分前開場)

2月2日の試写会で
沸き起こった感動の声!!
「どうしても
観せたい映画だ!」

アメリカ軍・普天間基地が封鎖された日
全国ニュースから黙殺されたドキュメント

参加費：前売り1,000円 (当日1,300円)
主催/映画「標的の村実行委員会」
事務局連絡先/029-226-3156 (茨城映画センター内)



「北茨城九条の会」 つどい 開催報告

2月2日(日)午後1時から4時まで、磯原駅東口近くの北茨城ふれあいセンタにて開催。

120名の参加者で立見席の出るほどの盛況な“つどい”になりました。

テーマは「気になる低放射線のもとでどう暮らす?」「チェルノブイリの今、福島原発事故を考える」でした。その後の事故報道、公表される数値に今一不安を感じる市民が多いように感じておりましたので「チェルノブイリの子ども救おう会」日立市代表の久保田護茨城大学名誉教授に講師をお願いしました。チェルノブイリ訪問20回もの実績を持ち、90歳とは思えぬ、さわやかでわかりやすいお話に参加者一同納得。

オープニングと中間に市内コーラスGrとオカリナ・「歌声」グループの皆さんに場内の気を和らげて頂きました。

実行委員会形式をとり平和の輪を広げることが出来ました。

北茨城九条の会 藤田稜威雄

「秘密保護法」は廃案しかない!! 全国と連帯して行動!!

「秘密法ネット」は、2月6日(木)午後1時から、水戸駅南口で「秘密保護法の廃止」訴えました。この取り組みは、「秘密保護法廃止全国ネット」と連帯して取り組まれ、7団体20人が参加しました。同じ日に土浦でも行われました。

リレートークでは、「何が秘密か、それが秘密になっている」「軍事や外交関係だけでなく、原発の情報も秘密になる」「私たちの知る権利行使が処罰される」など、廃止を訴えました。1時間の宣伝で、「国会請願署名」47筆、チラシを200枚配布しました。今後も毎月6日に街頭宣伝などの活動を進めます。



【朝日新聞県内版に報じられた木村事務局長】

小林多喜二祭のお知らせ

講演 「小林多喜二と上野壮夫」

日本民主義文学会 奈良 達雄 氏

とき 2月20日(木) 13:30~

ところ 筑西市 「アルテリオ」

JR水戸線下館駅北口下車徒歩7分

会場代・資料代 300円

主催 茨城県多喜二祭実行委員会
0296-24-9073



[シリーズ] わが街・わか会員

行方市/内田 明野さん (鹿行平和委員会)

命をかけても平和
を手ばなしてはいけ
ない!



先日、木村さんから平和について書いて下さいと頼まれたのですが、出来ませんとお断りしたのですが、何を書いても良いですよと云うので…

こんな雪の日は、お父さんの事を思い出す。

オートバイでの配達だった頃、よく新聞を落として、アイロンがけをやった。領収書を落としたり、おサイフを落としたり、その度に親切な人が知らせてくれた多くの人に支えられ60年やって来た。今は東京から午前1時45分に赤旗が玄関に届く。毎日雨の日も風の日も雪の日も1日も休みなく。真実を伝える新聞赤旗、日刊・日曜版、女性のひろば、時々、活躍しているポスター、新しいポスターが来ると門の前に貼りかえる。近所の友達は、時々はがれていたからビヨウを打ってやったよ、と云ってくれる。みなさんに支えられ、励まされ、よくやって来たなアと思う。

週に1回鹿行農民組合の山崎さんが来る。税金申告班会の忙しい中、『農民』を持って来る。そして日曜版を2部持って行く。そして原発0の署名用紙を10枚持って来たよと、おいていく。

先日、星野先生が年金者新聞を持って来た。昨年、年金を下げてしまった。元にもどせの署名用紙を持って来る。お友達二人で著名をして渡す。星野先生は千葉県多古町から来る。平和だから、元気だからできるんだなと思う。

60年前のお父さんの話を思い出す。大学の時、アカハタを配っていて、青山墓地に呼び出され殺されそうになった時、友達が多勢で来てくれて助けられたという話をしていた。

平和だから真実を伝える赤旗をくばれるんだなアと思う。私は今オートバイで日曜版を二部だけ配っている。何部かは東部地区委員会から北浦に送ってくれているとか、ありがたいと思っています。平和だから出来る。

宮本百合子さんが言っていた。女性は命をかけても平和を手ばなしてはいけない、と。今こそ、両手に平和をしっかりとにぎりしめ、安倍総理にむしり取られないように!頑張らなければと思う。お父さんのそばに行くまで、心身共に元気でいたい。